

VMware vNetwork Distributed Switch と Cisco Nexus 1000V シリーズ スイッチの仮想ネットワーク機能



このドキュメントの内容

VMware ESX の導入に伴って、多くの仮想化管理者が仮想スイッチの管理をハイパーバイザ内で行っています。仮想スイッチは物理ネットワークと一貫性を持つように設定する必要があるため、仮想化管理者とネットワーク管理者が密接に協力することにより、仮想マシンの接続を適切に設定することが求められます。

このドキュメントでは、仮想化管理者とネットワーク管理者を対象に、VMware とシスコが 2009 年に導入した仮想ネットワークの機能および特性について説明します。

仮想ネットワークのための代替製品

2009 年の VMware vNetwork により、VMware は、VMware Infrastructure (VI) を使用した仮想ネットワークの代替製品を多数リリースしました。表 1 に、それぞれの代替製品が備えている機能を示します。

VMware vNetwork Standard Switch

VMware vNetwork Standard Switch は、基本レベルの仮想ネットワークの代替製品です。VMware ESX 3.5 の標準的な仮想スイッチ (vSwitch) の従来の外観、設定、および機能が、2009 年の新リリースとして拡張されています。

VMware vNetwork Distributed Switch

VMware vNetwork Distributed Switch (vDS) は、VI の 2009 リリースで登場した新製品です。VMware Standard Switch のフィーチャ セットが拡張されているほか、VMware データセンターにある複数の VMware ESX および ESXi サーバが単一の分散スイッチとして表示されるため、ネットワークのプロビジョニング、監視、および管理が簡素化されます。

Cisco Nexus 1000V シリーズ スイッチ

Cisco Nexus™ 1000V シリーズ スイッチは、VMware vDS のサードパーティ vSwitch API と、Cisco Nexus スイッチファミリが持つ業界最先端のスイッチングテクノロジーを基礎として、シスコと VMware の協力関係から生まれた成果です。Cisco® NX-OS ソフトウェア データセンターオペレーティングシステムを採用した Cisco Nexus 1000V シリーズは、仮想ネットワークのフィーチャ セットをシスコの物理スイッチと一貫性のあるレベルにまで拡張し、VI 環境に高度なデータセンター ネットワーキング、セキュリティ、運用の機能を提供します。広く使われている既存のネットワーク ツールとインターフェイスを使用して、エンドツーエンドの物理/仮想ネットワークのプロビジョニング、監視、および管理を仮想マシンの単位で実行できます。Cisco Nexus 1000V シリーズは、VMware vCenter との透過的な統合により、一貫した仮想マシンのプロビジョニング ワークフローを実現するとともに、データセンター向けアプリケーション、VMware View などのミッションクリティカルな仮想マシンの展開に適した機能を備えています。



©2009 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco, Cisco Systems、および Cisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(0809R)

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先: シスコ コンタクトセンター

0120-092-255 (フリーコール、携帯・PHS 含む)

電話受付時間: 平日 10:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

お問い合わせ先